

官報公示整理番号

化審法 : カンテン 対象外
 ペプトン 対象外
 発色物質混合物 ー
 胆汁酸塩 対象外
 グリセリン 2-242
 モノステアリン 2-669
 ツィーン 40 8-55
 クロラムフェニコール 設定されていない
 カンテン 対象外

安衛法

: カンテン ー
 ペプトン ー
 発色物質混合物 ー
 胆汁酸塩 ー
 グリセリン 公表
 モノステアリン 公表
 ツィーン 40 公表
 クロラムフェニコール 4-(7)-991

CAS No.

: カンテン 9002-18-0
 ペプトン ー
 発色物質混合物 ー
 胆汁酸塩 ー
 グリセリン 56-81-5
 モノステアリン 123-94-4
 ツィーン 40 9005-66-7
 クロラムフェニコール 56-75-7

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を石けん水で十分に洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用する。
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
 回収、中和 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 皮膚などに付けないように、必要に応じて適切な保護具を着用する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して冷蔵保存する。(2-8℃)

安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 (2009年度版)

: 設定されていない

ACGIH (2009年度版)

: 設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具 : 特に必要ない。

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣 (長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

形状 : ゲル状
固体

色 : 淡赤色

臭い : わずかな特異臭

pH : 中性

沸点 : 分解

融点 : 分解

密度 : データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 可溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

反応性 : 酸化剤と接触すると反応することがある。

避けるべき条件 : 日光、熱

混触危険物質 : 酸化剤

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 : 区分外
経皮 : データ不足のため分類できない。

吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない。

吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性：区分外
皮膚に対する刺激性はない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：データ不足のため分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性：データ不足のため分類できない
皮膚感作性：データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない

発がん性：データ不足のため分類できない

生殖毒性：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露：データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：水生毒性（急性）：データ不足のため分類できない
水生毒性（慢性）：データ不足のため分類できない

残留性／分解性：データなし

土壤中の移動性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：残余物は、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
使用済みものは、121℃、20分で高压滅菌した後、都道府県知事の許可を得た廃棄物業者に委託処理をする。

14. 輸送上の注意

国内規制 適用法令なし

国連分類：分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

16. その他の情報

引用文献 化学大辞典 共立出版社（1963）
15710の化学商品、化学工業日報社（2010）

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の実用を対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。